

「市長記者会見」の概要

■日時 令和3年8月23日（月）午後1時30分

■会場 千曲市役所 庁議室・応接会議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、新建新聞、日本工業経済新聞、長野市民新聞

■質疑応答

【「千曲川 橋巡りラン」の開催について】

問 参加方法は、スマートフォンに専用アプリをダウンロードして行うのか。それともGPSをONにしていれば参加できるのか。

回答 専用アプリではなく、チラシの裏面にあるQRコードをスマートフォンで読み取ると専用ページが開くので、そこから参加できる。

併せてGPSをONにさせていただき、チェックポイントで画面を開くとスタンプ（旗のマーク）が貰える仕組みとなっている。

問 応募方法は。

回答 専用ページから応募できる。

問 限定品の千曲市の特産物はどのようなものか。

回答 詳細はこれから検討するが、千曲市の特産物数品をセットにしたものを考えている。

【「千曲市押し店プラチナチケット事業」について】

問 1店舗での販売数は何冊を想定しているか。

回答 月の売上金額によって区別している。売上金額が一か月100万円以上の場合は200冊で、100万円未満は100冊を予定している。

問 コロナ対策で実施すると思うが、以前、全国で同様な取り組みをした際に悪用する人がいた。例えば、各店舗等で一番安いものを買って、お釣りを貰ってお金を稼ぐという事例があった。防止策は考えているか。

回答 1枚500円のチケットが10枚綴りとなっており、お釣りは出ない設計となっていることから、そういった不正は防げるものと考えている。

【「安心して楽しむ」お店の環境づくりを支援】

問 詳細は現在設計中で9月からとのことだが、まずは「信州の安心なお店」の認証を取得して貰い、決まったところで事業を実施して行くということか。

回答 「信州の安心なお店」の認証取得を促す目的もある。従来型コロナ感染症対策を取っているお店に、更に県の巡回の指導を受けたチェック済みのお店が「信州の安心なお店」の認証を受けることから、消費者にとっては、より安全・安心に利用できるお店となる。認証取得について、周知されていないケースや申請が面倒との意見もあることから、申請の手続きの相談や協力等も行う予定。

詳細が決まり次第、できるだけ早く事業を実施したいと考えている。

【令和3年第5回（9月）千曲市議会定例会の日程及び提出議案】

問 地域要望に係る補正予算の額は。

回答 総額2億6,675万円で、P.9以降の網掛けの事業が地域要望に係る事業。

問 P.10の旅館ホテル観光需要喚起支援補助金の具体的な内容は。

回答 忘年会（新年会）対応として、旅館・ホテル等に補助金を交付するもので、額面5,000円のもの、3,500円で販売する。

切れ目のない支援として経済対策を考えていることから、押し店プラチナチケットが終了となる12月以降の年末年始にかけて、需要を回復させる目的に旅館・ホテル等に対し支援を行う。旅館・ホテルは裾野が広いことから、関連する業界にも波及効果があると考えている。

押し店プラチナチケットの旅館・ホテル版ということで、信州千曲観光局が事業を実施し、市は交付金として観光局に補助金を交付するもの。

問 日本遺産センターのグランドオープンに伴う施設管理費用が計上されているが、オープンの日程等は決まったのか。

回答 12月を予定しているが詳細はまだ決まっていない。

問 報告にある施設管理上の瑕疵の内容は。

回答 草刈り機により、跳ねた小石が駐車中の車のフロントガラスを損傷させてしまったもの。

問 議案第53号 千曲市役所出張所設置条例制定について、4月にオープンしているが、このタイミングで条例制定することとなった経緯は。

回答 利用状況（上山田戸倉市民窓口係）を見極めていた。今現在1日当たり約20件の利用（事務処理、発行業務等）があり、今後も利用が見込まれることから、正式に出張所として位置付けることとした。

問 議会の一般質問でもあったが、地方自治法に基づいた条例制定をしていないことに対する市としての考え方は。

回答 ただちに違法な状態ではないという認識。これまでの利用状況に加え、今後も利用が見込まれることから、法律に基づき速やかに条例制定を行うもの。

【市政全般について】

問 市長が公約で掲げていた「市長と語ろうお出かけシェアトーク」が始まったが、その感想と今後シェアトークに期待することは。

回答 ようやく開催にこぎつけることができた。ようこそ市長室や市政へのご意見・ご提案など、これまでも市民の声を聞く機会を設けてきたが、なかなか1時間フルで市民の生の声を聞く機会がなかったことから、テーマを絞って市民の皆様とじっくり話をできたことは、とても有意義であった。

- 問 子ども達のこれからの学びをテーマに開催した初回を踏まえ、これからの政策に参考となった点は。
- 回答 生の声を聞く中で、今後どのように活かしていくかは教育委員会とも話をしていきたいが、民間の教育の受け皿など、学びを基軸としたまちづくりができれば理想だと思っている。
- 問 市長就任後まもなく1年となるが、他にどのような政策やまちづくりを進めていきたいと考えているか。
- 回答 今進めている様々な施策を更に加速化することと、学びを基軸としたものとするれば、多様な学びを求めている方が多いことから、その受け皿をつくることを考えていきたい。そのことが住みやすさや子育てのしやすさにつながるため、現在研究しているところである。
- 問 小中学校が始まっているが、新型コロナウイルス感染症の現状（特別警報Ⅱ）の中、県教委では高校の部活動を控えるとか、夏休みが長い他の都府県では夏休みの延長などが出てきているが、現時点で市内小中学校に対し、休校なども含め、どのような措置を考えているか。
- 回答 現状は、教育委員会で示している基準により判断している。あってはならないが、緊急事態宣言など、今後更に感染レベルが上がった場合は別の対応をしなければならないものと考えている。

終了 午後2時15分